

一般社団法人 山梨県言語聴覚士会 NEWS

2017 Nov

vol. 39

◀目次▶P1～3…「言語聴覚の日」イベント報告 P4～7…新入会員紹介 P8…JRAT 設立記念式典・講演
P9…救急救命研修会・HUG 研修会 P10…ねんりんピック P11…講演会参加記・施設紹介
P12…小児リーフレット紹介 P13…ST 学会 P14…理事会報告 P15…お知らせ P16…編集後記

「言語聴覚の日」イベント報告

広報局広報部 高橋 正和（石和温泉病院）



一般社団法人山梨県言語聴覚士会では8月27日（日）に、明治安田生命 J1 リーグ 第24節 ヴァンフォーレ甲府 vs 川崎フロンターレ戦（山梨中銀スタジアム）において、PR イベントを開催しました。

今回のイベント開催にあたり、「山梨だから出来ること」をテーマにイベントを企画いたしました。当士会では、PR 活動の一環として、県立図書館への書籍寄贈や協会ポスターの掲示などを行ってきました。しかし、山梨県には言語聴覚士の養成校がないこともあり、言語聴覚士を目指す若い世代での知名度の低さは否めませんでした。そこで、県民に広く親しまれているヴァンフォーレ甲府のホームゲームでのPR イベントを開催したいと熱望し、ヴァンフォーレ甲府へ企画書を提出いたしました。ヴァンフォーレ甲府の海野会長からは、言語聴覚士の社会的認知度の向上のみならず、コミュニケーション障害者、摂食嚥下障害者の正しい理解および高齢者の難聴への対応等を知っていただく機会になると快諾を頂き、イベント開催の運びとなりました。

試合当日は1万人以上のサポーターがスタジアムに会場し、当士会の特設ブースにも多くの方が立ちよって下さいました。ポスター展示やパンフレット配布などの啓発活動が中心でしたが、御家族の相談や学生の進路相談など、ブースの来場者は途絶えることなく、大いに賑わいました。また、スタジアム入場者には、言語聴覚士の仕事をまとめたチラシ6000枚、県士会ロゴ入りの限定うちわ600本を配布いたしました。試合開始前とハーフタイムには、1万人を越える観客に向けて、横断幕とのぼりを持って6名の県士会員が、笑顔でスタジアムのトラックエリアを周回しました。また、スタジアム大型ビジョンに私たちのCMが流れた時には、このイベントまでの道のりを思い感無量となりました。

今回のイベントを通じて、地域の方々に対し私たちの活動を広報できる良い機会になりました。今後もより多くの方々に言語聴覚士を知ってもらい、理解を深めていけるような活動を行っていきたいと思います。

「言語聴覚の日」イベント特集

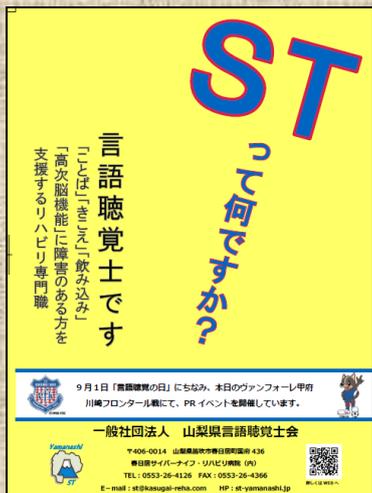
＜スタジアム隣接の特設ブース＞



日中は 30 度を超える真夏日の中、当士会の特設ブースにも多くの方が立ち寄って下さいました。



今回のイベント用に、言語聴覚士の仕事について簡単にまとめたチラシを使用して言語聴覚士について紹介しました。また、県士会員所属施設のエリアマップも好評でした。



＜イベントで配布したチラシと団扇＞

＜スタジアムでの横断幕告知＞



横幅 5.5m×縦幅 1mの横断幕を持ってスタジアムトラックを周回しました。

へ 大型ビジョン告知 へ



上段：スタジアム風景。大画面に映し出されたときには、興奮しました。

スライド1

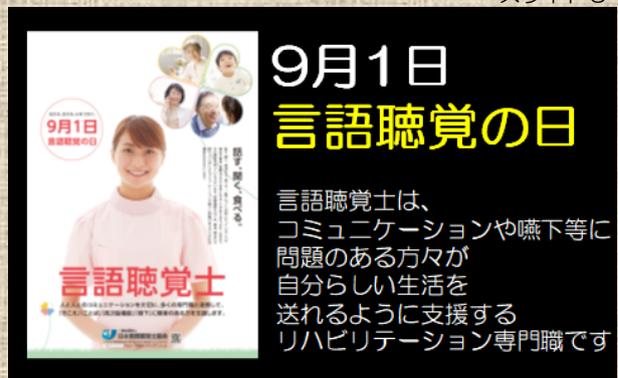
下段：告知動画。ナレーションと共に上映しました。

あなたの周囲に
こんな事で困っている人は
いませんか？

スライド2



スライド3



スライド4

人と人の気持ちをつなぎ
あなたらしい
豊かなコミュニケーションを
支えます

スライド5



一般社団法人
山梨県言語聴覚士会

協賛



一般社団法人
日本言語聴覚士協会

新入会員紹介

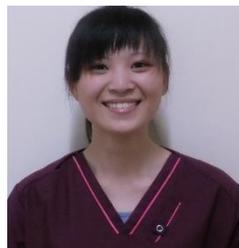
今年度は17名の方が当士会に入会して下さいました。これからよろしくお願ひします。自己紹介を兼ねてお一人ずつ、お言葉をいただきました。



石和共立病院

えんどう だいすけ
遠藤 大介

出身は福島県三春町です。趣味は釣りやバイクに乗ってツーリングへ行くことです。山梨へバイクを運んでいないので、いずれもってきたいと思ひます。雑学なども好きで広く浅くいろいろなところから知識を吸収しています。入職してから半年が経ちましたが不慣れな部分が多く、日々勉強不足を感じています。言語聴覚士としてやれていると実感できるよう今後とも研鑽を積みたいと思ひます。



国立病院機構甲府病院

みつい しほ
三井 紫保

国立甲府病院の三井紫保です。出身地は長野県小諸市で、畑と田んぼに囲まれた自然豊かな場所です。家族・親戚と過ごす時間が好きで田植えや稲刈り、年越し等の行事では皆、笑顔が絶えません。今は慣れない土地での一人暮らしに戸惑う事も多くあり、日々奮闘中です。山梨県へは重症心身障害について学びたいと思ひ、地元から飛び出してきました。多くの事を学んでいけるよう日々励んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

甲斐リハビリテーション
クリニック

せきた ゆき
関田 由起



以前は他県の回復期病棟に勤務していました。昨年甲斐リハビリテーションクリニックに入職し、STになってからずっとやりたかった訪問リハビリをやらせていただいています。利用者様・ご家族様・一緒に働く他事業所の方々から色々なことを学び、パワーをいただいている毎日です。まだまだ試行錯誤の毎日ですが、ご指導・アドバイスいただけたらと思ひます。よろしくお願ひ致します。



ひなた めぐみ
日向 恵美

以前は栃木県の回復期病棟に勤務していましたが、結婚を機に山梨県に引っ越し、学生の頃から興味があった生活期のリハビリに関わらせていただいています。外来STとして働き始め、日々新たな発見や学びがあり、反省と挑戦の連続だと感じています。更に患者様の可能性を引き出せるよう、またご家族様が安心できるよう、もっとも多くのことを吸収し、お役に立てるよう頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

甲州リハビリテーション病院

かみかわ わかな
上川 若菜



出身は山梨県の笛吹市です。栃木県で大学生活を送り、山梨に戻ってきました。趣味はサッカー観戦と洋画鑑賞です。入職して半年が経ちます。日々、勉強、反省の毎日ですが、上司の先生方、職場環境に恵まれており、充実した日々を送っています。一日でも早く、先輩方のように患者様の生活面にも視点を置きながらリハビリを提供できるよう視野の広い言語聴覚士を目指して日々努力していきますのでよろしくお願い致します。



甲州リハビリテーション病院

さとう あやみ
佐藤 綾美

出身は山梨県中央市(旧玉穂町)で、北里大学を卒業しました。気が付けば、言語聴覚士として働き始めて半年、先輩方や、時には患者さんからご指導を頂きながら、少しずつ臨床にも慣れてきました。毎日が反省と学びの連続ですが、患者様の豊かな人生のために、目の前の方と真摯に向き合いながら、成長していきたいと思えます。そして生まれ育った山梨県に、少しでも何か還元できればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



甲州リハビリテーション病院

しばた みきこ
柴田 美貴子

出身は山梨県大月市、出身大学は北里大学です。大学時代は実家から通い、休みの日には山梨に友人を連れてくるほど地元が好きで、山梨に就職しました。入職して5か経ち、悩むことが多い日々ですが、先輩方、患者様から教えていただくことがたくさんあり勉強の毎日です。自分自身の成長とともに、患者様一人一人の“その人らしさ”を引き出せる ST を目指し日々努力していきますので、どうぞご指導の程よろしくお願い致します。

甲州ケアホーム

(甲州リハビリテーション病院)

ながつか ともみ
永塚 朋美



はじめまして。永塚朋美と申します。

私の地元は埼玉県です。

今年の3月まで、埼玉県の介護老人保健施設で通所・入所の個別リハビリや失語症の集団リハビリ等の、生活期の現場で働いていました。今年の4月から、甲州ケアホームで訪問 ST として勤務しています。在宅で生活する利用者様のニーズに合わせた ST リハビリが提供できるように、日々精進しています。

湯村温泉病院

やはぎ ともあき
矢萩 智章



今年度、湯村温泉病院に入職しました矢萩智章です。出身地は千葉県鎌ヶ谷市です。出身校は東京都新宿区にある専門学校、首都医校です。入職して半年が経ちましたが、職場の先生方から常に多くの事をご指導頂いています。初めての土地でまだまだ慣れないことも多いですが、少しでも多くのことを職場の先生方や県土会の活動を通じて学びたいと思います。よろしくお願い致します。

湯村温泉病院

しらかわ かえて
白川 楓



富士山の麓にある富士河口湖町でのびのびと育ちました。映画観賞と音楽鑑賞が好きで、おもに洋画や洋楽を観たり聞いたりしています。この半年間の臨床では先輩方や患者様からたくさんのお話を学ばせていただきました。まだまだ未熟者ですが、ご指導していただいたことをしっかりと吸収して身につけていき、先輩方のような言語聴覚士へと成長できるよう精進していきます。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

山梨リハビリテーション病院

すぎもと くみこ
杉本 久美子



私は、小学校から高校まで柔道をやっていました。STを知るまでは柔道にしか興味がありませんでした。STを知り、勉強を始めると難しいことばかりでしたが、少しずつ楽しいと思えることも増えてきました。STとして働き始め5ヶ月程が経ちます。知識もコミュニケーション面も至らないところが多く、先輩方にはご迷惑ばかりおかけしていますが、STとしても人としても成長できるよう精進していきます。よろしくお願い致します。

竜王リハビリテーション病院

あさかわ いくえ
浅川 郁絵



出身地は埼玉県です。今までは埼玉県にある急性期の病院で勤務して参りましたが、去年の9月から竜王リハビリテーション病院で働いています。経験者ではありますが、急性期から慢性期への移動とのこともあり、リハビリを提供するにあたって今までの考え方と違った考え方をしなければいけない事、技術においてもまだまだだなど思う事がたくさんあります。これからも日々精進して頑張っていきたいと思います。宜しくお願い致します。

竜王リハビリテーション病院

もろすみ なつき
両角 奈津岐



今年から山梨県で言語聴覚士として働くことになりました。出身は長野県です。環境が変わり、最初は戸惑う事も多かったのですが、現在では大分慣れてきました。山梨の地名や方言等もわかる様になってきたので、患者様とお話するのも、より楽しく感じます。山梨県は県土会が充実していて、色々な先輩方から刺激を受ける良い機会になっています。今後も知識、技術の向上のために、日々努力して頑張っていきたいと思います。



甲府城南病院

やなぎはら ゆかこ
柳原 友佳子

北海道のイカと夜景で知られている函館市の出身の道産子です。

北海道札幌市で3年経験を積み転職で山梨県へ来ました。入職して半年が経ち少しばかり経験はあるものの自分の知識・技術の未熟さを痛感し日々諸先輩方から学ばせて頂いています。山梨県の勉強会・研修会の多さに驚くと共に学べる環境が多いことを嬉しく思っています。患者さんに寄り添える・力になれるSTを目指し頑張りたいと思います。これから宜しくお願いします。

甲府城南病院

ほりうち よりこ
堀内 賀子



ハタハタという魚が有名な秋田県八峰町出身です。1年間他の病院で

働いていましたが、私の理想とするSTになる為、城南病院で働く事を決意しました。入職して半年が経ち、悩む事も多いですが、臨床を楽しく行える喜びに感謝しながら働いています。まだまだ未熟な部分が多いですが、日々成長していけるよう努力をしていきたいと思ひます。宜しくお願いします。

甲府城南病院

さとう じゅんき
佐藤 淳貴



中央市出身で、県内には8年ぶりに戻ってきました。久しぶりに戻ってきて、患者様と地元ならではの話を出来るのが楽しいです。親近感も感じるので、生活をより良くしてあげたいという思いもより一層強く感じており、帰ってきてよかったと思っています。

今後、努力と研鑽を重ね、山梨の地域医療に貢献できればと考えています。これからどうぞよろしくお願い致します。

恵信甲府病院

さの ゆか
佐野 由佳



出身は高知県です。とても田舎なのですが、海・山・

川と自然に恵まれ、食べ物も美味しく、あたたかい人が多い素敵なところ。趣味は旅行や好きなアーティストのライブに行くことです。好きな事に対する行動力は人一倍だと思っています。社会人としてまだまだ未熟ですが、日々成長出来るよう頑張りたいと思ひます。よろしくお願い致します。

山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（山梨 JRAT）

設立記念式典・設立記念講演

災害対策支援委員 赤池 洋（山梨大学医学部附属病院）



平成 29 年 7 月 14 日、山梨県立文学館講堂にて山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（山梨 JRAT）設立記念式典・設立記念講演が開催されました。当日は 200 名以上の出席（当士会 33 名）のもと山梨県行政担当者様や山梨県医師会様、山梨県看護協会様より来賓及びご挨拶をいただき、盛会のもとに設立記念式典及び設立記念講演を開催することが出来ました。

平成23年3月11日の東日本大震災発災後、全国では同年4月に東日本大震災リハビリテーション支援関連10団体が設立されたことで山梨県でも平成25年6月に3士会災害対策準備委員会（現在の山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策支援委員会）が開設されました。私はこの時期より災害対策支援委員の担当となり、同年に開催されました災害リハビリテーションコーディネーター研修会に参加させていただきました。研修会には今回の山梨JRATの設立に携わった6名（佐藤Dr、古山Ns、三井PT、磯野OT、赤池ST、鈴木CM）が参加し、研修会後には定期的に会合を開き、山梨JRATの設立に向けて取り組んできました。山梨JRAT設立までの経緯にあたりましては大変多くの時間を費やしてきましたが、山梨県リハビリテーション病院・施設協議会をはじめ、他団体との協力を得ながら準備を進めることが出来たので、設立記念式典を迎えることができ、大変感激致しました。

また、設立記念講演では山鹿温泉リハビリテーション病院 田代桂一先生より「熊本地震における大規模災害リハビリテーション支援活動について」ご講演をいただきました。田代先生は熊本地震の時にはJRAT熊本地震災害対策本部の現地統括本部長をされ、JRAT調整本部の設置、その指揮系統に入り、医療救護班の一員として災害リハビリテーション担当の役割を担っておりました。ご講演ではJRAT活動開始から撤収、そして復興リハビリテーションセンターへの流れについて現地活動の実態を大変わかりやすくお話をいただきました。今後はご講演で学んだことを山梨JRATでの活動に生かし、平時から災害時に向けた準備を進めていきたいと思っております。

この度は設立記念式典・設立記念講演に多くの会員の皆様にご参加いただき感謝申し上げます。



災害対策支援委員会研修会～避難所運営ゲーム HUG～

開催報告

災害対策支援委員 中嶋 崇博（山梨県立中央病院）

平成 29 年 8 月 8 日（火）に山梨県立中央病院にて「災害対策支援委員会研修会～避難所運営ゲーム HUG～」を開催しました。災害時に起こる様々な出来事にどう対応していくかを体験することを目的に山梨県防災局防災危機管理課防災企画担当の三森佑樹氏より、避難所運営をカードゲーム形式で学びました。中学校の体育館・校舎・校庭・駐車場を活用した運営を実践し、対策本部・仮設トイレ等のハード面の設営、次々と訪れる避難者への対応をグループ毎に真剣に考えました。カードゲーム形式であっても現場の状況を把握しながら、避難者への心理精神面に配慮した運営をする事の難しさを体験できたのではないかと思います。近年、日本は多くの災害に見舞われており、いつどこで発災してもおかしくない現状です。私たちも災害に対する意識を常に持ち続け、発災時に支援活動に取り組めるような平時からの心構えが大切だと思います。



救急救命研修会

平成 29 年 7 月 1 日（土）に国立病院機構甲府病院にて救急救命研修会 Basic（成人急変時対応）コースが開催されました。当士会では 2 度目の研修会となりますが、理学療法士や看護師など他職種、23 名が参加されました。

参加記

甲州リハビリテーション病院 間宮 愛貴



研修会は講義と実技とを織り交ぜての内容となっており、より実践的に学ぶことのできる貴重な研修となりました。鈴木哲司先生をはじめ、インストラクターの先生より CPR や胸骨圧迫のポイント、気道異物の除去など BLS（一次救命処置）に関する内容をご教授いただきました。実技を通して、救急救命では冷静な判断力や、適切な声掛け・チーム連携がいかに重要であるかを改めて学ぶことができました。今まで、救急救命の現場に立ち会う機

会はありませんでしたが、言語聴覚士として臨床で働く上で、窒息や病態の急変により、救急救命を実施する機会があるという意識を今一度持っていきたいと思います。また、今回の研修内容を知識として持っているだけではなく、実際の現場で活かすことができるよう、自身の動きや対応方法を常日頃よりイメージしながら日々の臨床に取り組んでいきたいと思います。



いきいき山梨ねんりんピック出展報告

広報局広報部 池田 一之亮（甲州リハビリテーション病院）

平成 29 年 9 月 30 日（土）にいきいき山梨ねんりんピック 2017 が小瀬スポーツ公園で開催されました。当日は、天候に恵まれ多くの参加者がいらっしゃいました。PR 活動の一環として今回は、誤嚥性肺炎の予防をテーマに呼気圧測定器を使用した、「咳嗽力測定」を実施しました。高齢者の方を中心にたくさんの方々に興味を持って頂けました。ブースに来て下さった方々は、言語聴覚士については知らないという声が多かったのですが、誤嚥性肺炎については「聞いたことがある」「知っている」という声が多く、「最近むせやすくなった」「予防したい」等の話が聞かれました。検査結果と一緒にトレーニング方法をお伝えすると、「家でやってみます」「いい話を聞いて良かった」と言って頂き、誤嚥性肺炎への関心の高さを実感しました。

地域にもっと言語聴覚士を知ってもらうことで、より地域の人々が健康的な生活を送ることができると思いました。今後も地域に言語聴覚士が伝わるように全力で活動していきたいと思えます。



「誤嚥性肺炎」への関心は高く、220 名以上の方が咳嗽力測定に参加して下さいました。参加者には、測定結果と誤嚥性肺炎の予防についてまとめたリーフレットを配布しました。



山梨県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会の参加メンバー。一日お疲れ様でした。

第 2 回学術講演会

今年度、第 2 回学術部講演会が平成 29 年 9 月 6 日に山梨市民会館で開催され、当士会員のみならず、県外の ST や学生、合わせて 67 名が参加されました。

参加報告

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 山田 典子

今回は「語彙障害の評価と治療」をテーマに東京都リハビリテーション病院の奥平奈保子先生よりご講演を頂きました。相互活性化モデルを元に呼称障害のメカニズムや分析方法、観察のポイント、アプローチ方法、また、奥平先生の実際の臨床場面から訓練の経過を教えてくださいました。障害されるルートにより錯語の種類は異なるため、患者さんの表出をきちんと分析していく必要性を改めて感じました。また、具体的なアプローチ方法を知ることが出来たので、自分の担当している患者さんに学んだことを活かしていきたいです。



奥平先生の臨床では、長期間の訓練で成績がプラトーに達していた方が、アプローチ方法を変えたことで変化がみられたという話がありました。「本人がこれなら言える（言いたい）と思える教材を使うことも大切」という先生の言葉が印象的でした。ST という仕事は言語機能をしっかりと評価した上で、その方の性格や生活背景などを考え、関わる必要があるということを感じました。

今回の講演会を受けたことで、自分の臨床を見直し、患者さんのことを改めて考え直すきっかけとなりました。

施設紹介

＜独立行政法人国立病院機構甲府病院＞

小松 富美子

当院は、明治 42 年に陸軍四十九連隊の東側に設置された陸軍病院が始まりです。現在は、一般地域医療、重症心身障害者医療、救急医療（一般及び小児）、周産期医療の役割を担っています。病床数は 282 床（一般：144 床、重心：132 床、結核：6 床）です。

リハビリテーション科は、PT12 名、OT5 名、ST3 名、マッサージ師 1 名の計 21 名で構成されています。当院のリハビリ室は、PT、OT、ST の区別なく席が配置されており、他職種間で患者様についての相談がとてもしやすい職場です。若い人も多く、活発な意見交換が行われています。

当院での ST の特徴としては大きく 3 つが挙げられます。

- ①一般病棟：脳血管疾患、肺炎などの呼吸器疾患、パーキンソン病や ALS などの神経難病に対する摂食嚥下訓練や失語症・構音障害の言語訓練を実施しています。
- ②重症心身障害者病棟：重度の知的障害、重度の肢体不自由を持った小児から成人までが入院しており、機能維持や発達の支援に関わっています。
- ③物忘れ外来：認知症専門医がおり、脳神経外科では、認知症の初期診断、治療を行っています。ST は神経心理検査を担当しています。検査が 100 件を超える月もあり、早期からの認知症治療に取り組む方が増えていることを実感しています。

今年は新人を迎え、3 名となりました。新人でも、ベテランでも、同じように患者様に寄り添い、笑顔を支えられるように、日々の臨床に励んでいきたいと思っております。



小児領域リーフレット紹介

山梨県リハビリテーション専門職団体協議会の特別支援教育委員会では、この度、専門職活用の啓発のためにリーフレットを作製致しました。教育・福祉などの多職種へ各療法の専門性を理解していただき、より密接な連携が図れることを期待しています。



山梨県
リハビリテーション専門職団体協議会

私たち、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のリハビリテーション専門職は、山梨の子どもたちが「笑顔」で伸び伸び育つよう支援したいと考えています。

理学療法士は、身体機能や運動機能の向上を図るために、**作業療法士**は、生活行為や応用動作能力の自立に向け、**言語聴覚士**は、きこえやコミュニケーション、食べることに問題を抱える子どもたちに、各々の専門的な立場からアドバイスをを行います。



《事務局》 2017年現在

一般社団法人 **山梨県理学療法士会**



山梨県立あけぼの医療福祉センター
理学療法科内
Email: yamanashi.pt.jimu@gmail.com
http://ypta.jp/

一般社団法人 **山梨県作業療法士会**



甲府城南病院
作業療法科内
Email: info@ot-yamanashi.org
http://ot-yamanashi.org/

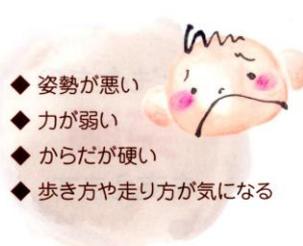
一般社団法人 **山梨県言語聴覚士会**



春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
言語療法科内
Email: st@kasugai-reha.com
http://st-yamanashi.jp/

お母さん、お父さん、先生方、
お気軽に
お問い合わせください

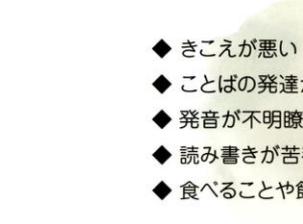
こんなことで… お困りではありませんか？



- ◆ 姿勢が悪い
- ◆ 力が弱い
- ◆ からだが硬い
- ◆ 歩き方や走り方が気になる



- ◆ 手先が不器用
- ◆ 箸や鉛筆が上手に使えない
- ◆ 着替えやトイレの動作がうまくできない



- ◆ きこえが悪い
- ◆ ことばの発達が遅い
- ◆ 発音が不明瞭
- ◆ 読み書きが苦手
- ◆ 食べることや飲むことが苦手



**私たちリハビリテーション専門職が
各々の専門的な立場からアドバイスなどを行います
私たちにお任せ下さい！**

<具体的な相談の一例>
ごはんが上手に食べられない…



理学療法士(PT)は

- 食事時の姿勢や動作を確認します。
- 必要な運動やストレッチの方法について提案します。
- 机や椅子などの適合性と姿勢を検討します。

作業療法士(OT)は

- 肩や手首、指の使い方などを確認します。
- 箸の持ち方や器の持ち方を練習し、その方法について提案します。
- 機能にあった食具を検討します。

言語聴覚士(ST)は

- 食べている様子を確認します。
- 口や舌を上手に使う練習や、練習方法の提案をします。
- 食形態や食べ方の工夫について検討します。

第18回 日本語聴覚学会報告

平成29年6月23日～24日の2日間、島根県松江市のくにびきメッセにて第18回日本語聴覚学会が開催されました。全国から1800人という参加者の中、当士会員もポスター発表、口述発表の演者として参加しました。

発表後記

甲府城南病院 河村 有美

今年は、学会長を竹内茂伸先生（一般社団法人山陰言語聴覚士協会会長）が務められ、「地域に開かれた、地域に愛される、地域に信頼される言語聴覚士になる。―地域包括ケアに求められる言語聴覚士の役割―」をテーマに様々な講演や演題発表が行われました。その中でも竹田契一先生のSLTAの作成経緯に関する特別講演では、SLTAが学際的な検査法であると共に、失語症状を捉える上で基本となる検査であることを改めて学ぶことができました。

今学会では、私自身も「右側頭後頭葉出血後に視知覚機能の低下と相貌失認の憎悪を認めた先天性相貌失認の一症例」というタイトルで、患者様の発症直後から退院時、3年後の視知覚機能および相貌認知機能の経過について、ポスター発表をいたしました。初めての発表であることに加え、電子ポスターという今年初めての試みの中での発表でしたので、会場の様子や発表の進め方など、不安な面も多々ありましたが、無事に終わることができました。自身がこれまで行ってきたリハビリテーションの内容について、全国各地の先生方に聞いて頂き、ご意見を頂くことは大変刺激になり、これまで自身が気づかなかった面に視点を広げることができました。

今回、発表を通して得たことを今後の臨床場面で活かしていきたいと思っております。

発表後記

甲州リハビリテーション病院 渡邊 妙美

今回は、初めて演者として参加しました。「接近行為の中で形式性錯語を多く産生した伝導失語の一例」というタイトルで、接近行為でみられた発話の分析と、形式性錯語の出現について考察し、報告致しました。

今回の発表を通して、これまでの臨床を振り返る機会となりました。先輩方にご助言を頂きながら、症例の症状について理解を深めると同時に、様々な評価点、障害構造について学ぶことが出来ました。会場では、様々な意見を頂き、新たな課題に気付くことが出来ました。また、スライドの構成や質疑応答など、課題はたくさんみえましたが、充実し大変貴重な経験となりました。

今回の発表準備にあたり、自身の評価不足、知識不足を痛感しました。これからは、知識の向上を図り、日々の臨床をまとめることを継続しておこなっていきたく思います。今回得たことを臨床に活かし、患者さんに還元していき、日々精進してまいります。



理事会報告

平成29年度 第1回理事会議事録

日 時：平成29年5月19日（金） 18：35～22：25
議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池（三）・中村・赤池（洋）・池神・桂川・
小池・高橋・元木・吉澤・河西

欠席理事：市川・和泉・梶原・佐々木

<協議事項>

1. 第2回基礎講座と第2回学術講演会の日程が決定した。
2. 症例検討会の発表者については、経験年数2年目の会員も含め検討していくこととなった。
3. 「言語聴覚の日」PR イベントで配布する団扇やチラシの詳細は、VFKの広報担当者と準備を進めることが確認された。ボランティア募集方法等については、理事会で協議することとなった。
4. 県士会事業写真データの保存・管理について、各部署の担当者が決定した。
5. 県士会パンフレットを4000部作製することが承認された。
6. 県士会NEWS38号企画案が一部変更後承認された。内容、ページ数について継続審議することとなった。

<報告事項>

1. 「言語聴覚の日」の広報イベントについて別紙資料に基づき説明された。
2. 初期研修、導入研修のテキストを作製したことが報告された。
3. 県士会運営の失語症友の会の設立について提案された。

平成29年度 第2回理事会議事録

日 時：平成29年6月16日（金） 18：40～20：30
議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池（三）・赤池（洋）・池神・和泉・市川・
桂川・小池・佐々木・高橋・元木・吉澤・河西

欠席理事：中村・梶原

<協議事項>

1. 「言語聴覚士になるには（なるにはBooks）」「高次脳機能を育てる」の2冊を県立図書館へ寄贈することが承認された。
2. 災害連絡網については平成29年度の代表者会議での説明後に運用していくことが承認された。
3. 会員の失語症友の会への意識・実態把握を目的としたアンケートを行うことが決定した。

<報告事項>

1. 会員動向、会費納入状況が報告された。
2. 第1回学術講演会、症例検討会、小児領域勉強会、第2回新卒者研修会の開催が報告された。
3. 山梨県リハビリテーション病院・施設協議会定期総会、山梨県民間病院協会定時社員総会、一般社団法人日本言語聴覚士協会 平成29年度定時社員総会、山梨県理学療法士交流会、山梨県作業療法士会新入転入者歓迎会への出席が報告された。
4. 小児用のリーフレットを作製したことが報告された。

平成29年度 第3回理事会議事録

日 時：平成29年7月21日（金） 18：35～20：40
議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池（三）・中村・赤池（洋）・池神・和泉・
市川・桂川・小池・佐々木・元木・吉澤・河西

欠席理事：梶原・高橋

<協議事項>

1. いきいき山梨ねんりんピックではピークフローメーターを使用し「誤嚥性肺炎の予防のための咳嗽力チェック」を行うことが決定した。
2. 県士会NEWS第39号は「言語聴覚の日」のイベントをメインに16P仕様とすることが決定した。
3. 失語症友の会アンケートについて、一部修正後、各施設に配信することが承認された。
4. 失語症全国大会インいわての協賛依頼について東日本復興支援事業費を活用し、山梨県言語聴覚士会としてA4サイズの広告を出すことが承認された。

<報告事項>

1. 九州北部豪雨に対するお見舞い、国立国会図書館への納本、名義後援承諾、会費納入状況が報告された。
2. ST協会より「言語聴覚の日」の活動補助金、山梨県リハビリテーション病院・施設協議会より活動支援金が入金されたことが報告された。
3. 第1回生涯学習プログラム基礎講座、第2回小児領域勉強会、第3回新卒者研修会の開催が報告された。
4. 「言語聴覚の日」PR イベント打ち合わせ、県内高校へのパンフレット送付について報告された。
5. 県士会HPのドメイン移設、新サーバーの設定、データのアップロードが完了したことが報告された。
6. 平成29年度都道府県士会会長会議、3土意見交換会について報告された。
7. 救急救命研修会、JRAT 設立記念式典の開催が報告された。

平成29年度 第4回理事会議事録

日 時：平成29年8月18日（金） 18：42～20：54
議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池（三）・中村・赤池（洋）・池神・和泉・
市川・桂川・小池・佐々木・高橋・吉澤・河西

欠席理事：梶原・元木

<協議事項>

1. 導入研修は来年度以降に実施することが承認された。
2. 山梨県言語聴覚士会失語症友の会の名称が「ふじやま」に決定し、来年度の設立に向けて準備を進めていくこととなった。

<報告事項>

1. 「言語聴覚の日」PR イベント、いきいき山梨ねんりんピックの詳細について報告された。
2. HP 更新内容、県士会NEWS39号の企画、今後の作業工程が報告された。
3. 山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会について9月よりHPで参加受付を開始することが報告された。
4. 今年度よりPT・OT・STバンクの登録申請窓口が専門職団体協議会事務局となることが報告された。

場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
書 記：安富朋子、山田 徹、山田典子、坪井沙妃
議事録作成：河西祐子

各局からのお知らせ

事務局

- 当士会が昨年度発行した「一般社団法人山梨県言語聴覚士会第9回学術大会プログラム・抄録集」について、国立国会図書館より納入の依頼があり、県士会NEWS38号と併せて納本しました。国会図書館ホームページ上の「全国書籍」やNDL-PAC（国立国会図書館蔵書検索・申込システム）に書籍データが掲載され、図書館資料として広く利用されるとともに、文化財として永く保存されることとなります。
- 会員動向（平成29年9月末現在）
正会員数 139名 賛助会員 6団体
入会：石原 美桜先生
（おおくに在宅ケアセンター）
退会：坂井 隆一先生（石和温泉病院）
- 会員名簿記載事項に変更のあった方は「会員異動届」の提出にご協力ください。届出用紙は県士会ホームページからダウンロードできます。

学術局

平成29年度前期の学術局主催の講演会・研修会に多くの会員皆様にご参加いただき、ありがとうございました。後期には新たな試みの研修会も企画しております。ご参加をお待ちしております。

<学術部>

第1回 実技研修会

日時：平成29年11月20日（月）18:30～

場所：ぴゅあ総合 大会議室

テーマ：口腔顔面領域の運動機能障害へのアプローチ～摂食嚥下・構音・表情の問題～

注意）この研修会は、第3回学術講演会の参加者のみ参加が可能となっています

<研修部>

第4回 症例検討会

日時：平成29年12月19日（火）18:15～

場所：甲府市東公民館

第4回 小児領域勉強会

日時：平成29年11月18日（土）14:30～

場所：甲府共立診療所

内容：田中ピナー知能検査とLCスケールの検査方法と解釈について

<教育部>

第5回 新卒者研修

日時：平成29年11月16日（木）18:30～

場所：甲府市東公民館

内容：SLTA実技「読む」「話す」「書く」

第6回 新卒者研修

日時：平成29年12月7日（木）18:30～

場所：甲府市東公民館

内容：症例検討、1分間スピーチ

社会局

<職能部>

- 一般社団法人日本言語聴覚士協会 平成29年度都道府県士会会長会議（6月22日：島根県）に安富事務局副部長が出席されました。
- 山梨県地域包括ケア推進協議会、甲府市在宅医療・介護連携推進会議、介護予防リハビリテーション促進部会、地域リハビリテーション従事者研修会実行委員会が開催されました。県士会からは内山会長をはじめ、理事、県士会会員が参加・協力していきます。
- 第5回甲信越在宅推進フォーラム（9月17日：アピオ）が開催され、実行委員として中村副会長、矢澤 ST が参加されました。また、県士会からは赤池副会長、河西事務局長、赤池理事、山本 ST がグループワークやブース展示・相談のために参加されました

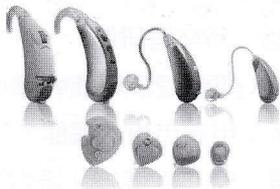
<地域部>

- 「失語症友の会活動についてのアンケート」につきましては今後の活動に向けた貴重なご意見を頂くことが出来ました。ご協力ありがとうございました。アンケート結果は次号の県士会 NEWS に掲載する予定です。
- 社会局地域部の研修会が11月9日（木）、ぴゅあ総合で開催されます。内容は「失語症友の会の支援について」です。会員の皆様、多くのご参加を宜しくお願い致します。
- 「第22回山梨県失語症者のつどい」が11月12日（日）、大木記念ホールにて開催されます。会員の皆様、ボランティアのご協力をお願い致します。

おかげさまで35周年



これからもやさしい聴こえのお手伝い
快適生活をサポートします



認定補聴器専門店

山梨リオン補聴器センター

甲府店 ☎0120-29-3321 玉穂店 ☎0800-800-8173
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮29-3 山梨大学附属病院前

私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問合せください。



Atos
Atos Medical Your voice

株式会社アトスメディカルジャパン

〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル 2F
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890
info.jp@atosmedical.com

HEALTH CARE FOOD
在宅 通信販売
Healthy Network

病院で使われている介護食を
ご家庭にお届けしています。



- ☑ 噛むこと、飲み込むことが苦手な方に
- ☑ 飲食時によくむせる方に
- ☑ 食の細かい方に

やわらかさの程度や形態別に分類されたおかず、
とろみ調整食品や濃厚流動食品が掲載
されています。また、栄養指導で
役立つコラムも多数ご紹介して
います！

とろみ調整食品は
とろみあがり
パワーアップ
がオススメ！

カタログのご請求・お問い合わせは

株式会社ヘルシーネットワーク 〒191-0024 東京都日野市万願寺1-34-3

☎0120-236-977 受付時間 9:00~17:00※日・祝除く

ヘルシーネットワーク 検索 <http://www.healthynetwork.co.jp>

かきまぜても離水しにくい新しいゼリー

まぜてもジュレ

従来のゼリーにはない特性を持った
リセットゲルになります

- クラッシュしても離水しにくい
- 再結着性(まとまり)がある
- よくかきまぜるととろみ状になる



foodcare
JAPAN

〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本4-19-16 OEMビル
TEL: 042-700-0555 FAX: 042-700-7444



おいしく、たのしく、嚥下リハビリのお手伝い

摂食嚥下リハビリ食のラインナップ紹介

様々な製品を取りそろえています。

<p>毎日違う味が楽しめる 10種類の味</p> <p>エンジョイゼリー</p> <p>ブルー いちご コーヒー チョコレート あずき味 バナナ味 ゆず 抹茶 アートをのり りんご味</p>	<p>個別の栄養補給に適した 食べきりサイズ</p> <p>エンジョイカップゼリー</p> <p>いちご味 キャラメル味 あずき味 コーヒー味 りんご味 マンゴー味</p>	<p>無理せず食べられる40g</p> <p>エンジョイ ハイカロリーゼリー</p> <p>りんご味 もも味</p>	<p>トロミの質の向上とよさを実現</p> <p>つるりに Quickly</p>
--	---	---	--

他にもおいしく栄養が摂れる、豊富なラインナップがそろっています。資料・サンプル等のご請求はお気軽に。

☎0120-52-0050 | クリニコ 検索 <http://www.clinico.co.jp> 株式会社クリニコ

唾液のチカラで健康と笑顔を
お口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ

Pepti-Sal



Pepti-sal (ペプチサル)とは、
「Peptide (ペプチド)」+
「Saliva (唾液)」の造語。

唾液のチカラに着目して開発された
低刺激性のオーラルケア製品です。
デリケートなお口をやさしくケアし、
お口の環境を健康に保ちます。
要介護の方のケアにもおすすめです。

2014年12月発売

T&K ティーアンドケー株式会社

☎0120-555-350

www.comfort-tk.co.jp

編集後記

今年も残すところ後一か月となり、朝夕はめっきり冷え込む時期となりました。今号に掲載している、「言語聴覚の日」のイベントでは、多くのサポーターの方に言語聴覚士という仕事をアピールできたと思います。それと同時に、スタジアムの大画面に映し出された「言語聴覚士」という文字を見て、改めて言語聴覚士という仕事の素晴らしさ・重要性を実感しました。気を引き締めて毎日の臨床に臨んでいきたいと思えます。

言語聴覚の日のイベント以外でも、今号ではページを増やし、新入会員や山梨JRAT記念式典・設立記念講演、小児リーフレットの紹介など盛り沢山の内容を掲載しています。今後も様々なイベントや情報をタイムリーに発信していけるように努力して参りますので、宜しくお願ひ申し上げます。
(小松 富美子)

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

<発行人> 内山 量 史

<編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集・HP管理部

石 和 温泉病院 高橋 正 和
石 和 共立病院 渡邊 千 裕
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 佐々木 蘭 子・小 澤 しず香
恵 信 甲府病院 藤原 裕 己
甲州リハビリテーション病院 間 宮 愛 貴
甲府城南病院 中 山 葉
国立病院機構甲府病院 小 松 富美子
湯 村 温泉病院 岡 大 樹

<事務局> 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366

<発行日> 2017年11月1日 第39刊